

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 16日

事業所名: 学童クラブそよ風2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11		スペースは適切であるが班分けをしたりして活動しやすいように工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1		職員を増やしていきたいと思えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11		バリアフリーを考慮していますが、スタッフ支援でカバーしている所もあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1	職員会議などで療育活動の進行の打ち合わせや結果を共有し、継続して行う事や改善点を話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11		公開させていただいています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1		外部評価について検討を行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11		定期的に研修に参加し、勉強会を行っています。	
適切な支援の担	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	11		面談で保護者とアセスメントを行い、職員会議で話し合っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11		アセスメントシートを作成しています。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11		保護者と面談をして職員会議で話し合って支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	11			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11		職員会議で情報を出し合い共有して作成しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11		支援する時間によって課題やプログラムを作り取り組めるようにしています。	

児 供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	11		状況や取り組む課題により、個別・小集団活動の計画を作成しています。		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11				
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11				
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11				
	21	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11				
	22	(放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	11			支援を組み合わせで行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11				
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11				
	25	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11			送迎時などに情報共有や連絡調整を行い、連携しながら支援を行っています。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11				
	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11			面談をして全員の引き継ぎを行い、連携しながら支援を行っています。	
	31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11			見学や面談等必要であれば行い、保護者同意の下、必要に応じ記録情報を提供しています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11				

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	4		活動交流は行えていません。今後の課題としていきます。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11			
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11		ご家族の方と日頃から状況を伝え合い、共通理解を持てるよう努めています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11			面談や職員会議などで支援について話し合いをしていますが、プログラム化は課題であります。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	11			
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		面談や送迎時に保護者の悩みや不安に耳を傾け支援しています。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11			来年度から、また保護者会を行っていきます。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		相談や申し入れに関しては随時受付している事が保護者の方にはお伝えしています。申し入れがあった場合は面談し、内容によっては必要な機関と連携して対応して行きます。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11		個人情報の取り扱いを常に注意喚起していきます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	3		地域住民を招待する等の行事がありません。今後の課題としていきます。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11			
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11		定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11		現在対象児童はいませんが対応については職員会議などで話し合っています。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11		共有しています。さらに様々な事例について話したいと思います。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11		定期的に研修を行い対応しています。	

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	11		面談時、身体拘束の必要性をご家族に確認し、計画書にも記載しています。
--	---	----	--	------------------------------------

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。